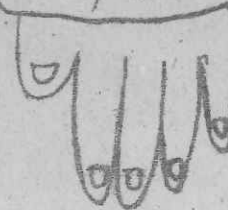


高校阿倍野新聞

発行所

大阪市阿倍野区
阪南町1-30-34
大阪府立阿倍野高等学校
新聞部
編集責任者 大森伸樹
発行責任者 木本敬巳

明けまして
おめでとう
ございます
A.P.C



制服問題の新しい動き

今まで、制服問題というものが、当分間取り上げられてきたが、今回は、制服自由化を進めるという動きが出てきたことを、この機会に、部内で討議してみた。と、具体的に書いてみた。

◇
今まで、幾度か、この問題が取り上げられてきた。学校の規則を破る者、かたがた、最終的には、議論のようになり、結局、困る側の例を参考に、進んでみた。

まず、始めに上層部、すなわち、校長、教頭、教務部、というところから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。これは、今の学校の状況、教務部が、早くから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。これは、今の学校の状況、教務部が、早くから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。

◇
まず、始めに上層部、すなわち、校長、教頭、教務部、というところから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。これは、今の学校の状況、教務部が、早くから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。

◇
まず、始めに上層部、すなわち、校長、教頭、教務部、というところから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。これは、今の学校の状況、教務部が、早くから、制服自由化を進めるという動きが出てきた。

針



昭和五十二年と年を改まり、新しい目標を定められ見つけたいと思ふ。しかし、昨年の反省としては、今年の目標は、量ではない。これは、昨年の反省として、昨年の目標は、量ではない。これは、昨年の反省として、昨年の目標は、量ではない。

- 名○ 大森伸樹 水橋純子
木本敬巳 柴田孝子
春日雅司 小原千加子
新部重彦 海野たけり
藤田孝行 三谷小百合
端原光世

大幅な改革

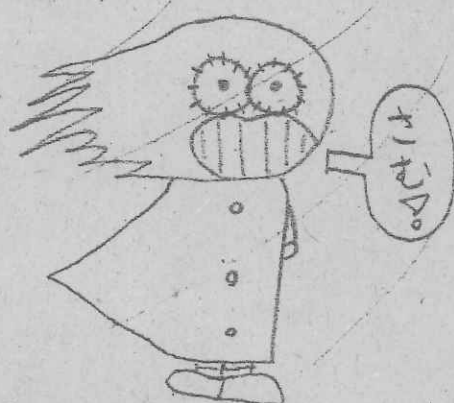
橋を行つた。
しかし、その結果、一部の者
からは、他人の中傷や、汚字に
するのには、あまりにもたが
たいものなどが、出てきた。そ
れに対して編集委員は書き
人に、書きなめすか、カットさせて
もらうかどうかの承諾を得た。

行くやうな、このやうなものに
 常識で考へても全往徒に配布さ
 れる聖人へのせることは、でき
 ないの、我々生徒はもう少し
 まじめに投稿するべきだ。しかし
 編集委員会にもある程度、資
 料がある。去年とは違つた聖人
 の編纂なのだから、このやうな
 ものが出るといふことも多期し
 なるべく出ないやうな方向に向
 けていったら良いのでは、なか
 ったのだろうか。
 以上のことから、つ何でもし
 という言葉は軽蔑であらう。

さむい。

- 一、読んでもらえる。
- 二、聖書の存在を認識させる
- 三、気軽に読めて、おもしろ味のあるものにする。
- 四、自治会の機関誌なので、全員が参加するべきだ。

という以上の理由から、全書集



たと思つ。
このような大幅な改革を行ふのなら、先の先まで見通した計画を立てるべきであつたであらう。もう少し慎重に、行動してほしいものだ。

今後の編集委員会には、このような失敗を二度と繰り返してほしくない。そして執行部も、計画性のある行動をとつて、編集委員会との結成を行つてほしいものだ。

去る十一月五日の午前十時四十分
三分に生物科の松峯俊一先生（七
十歳）が亡くなられた。

先生は、氣管支拡張及び慢性肺
 気腫で今年の八月二十七日に入院
 されたのだが、この秋折々の
 榮さに病状も悪化し、亡くなられ
 た。

告別式は、翌日の十一月六日（土）に北區南森町の九品（くほん）寺でしめやかに行なわれた。そこには、平田校長をはじめ畑中教頭、三宅前校長など多くの先生方及び松壽先生の生前を忍ぶ生徒達の姿が見られた。

故松壽俊一先生は、明治三十九年八月十二日生まれて、昭和十八

こころの負しい人は
さいわいでゐる
天国は彼らのものである

マタイ=53福音書第5章3節

素アルコール
養柴タール
大ニコチン



投稿はこちら！

ルート その1

地学準備室のとなり

部屋 ← コ

ココへ

もってきて
下さい

A.P.C.より

ルート その2

3-3 教室

ココ → 部屋

ルート その3

← 物理室

部屋

ココ

この植物に關した話をする先生の瞳は、
著々しく輝き、とても楽しそうであ
つた。そんなまじめでさあやかな先
生であられた印象が深く残つていろ
う。そして松には、「さあ、いまま
ぞ」と、にこやかに笑つておられた。
先生の姿が今でも目に浮かんでくる
のです。

